

質問書に対する回答4

件名) 首都圏中央連絡自動車道 神崎大栄舗装工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	設計図 敷地整備工191/197 矢口プラント敷地利用計画図(2)	設計図 敷地整備工 191/197 矢口プラント敷地利用計画図(2)において、関連工種の数量表が記載されております。 ①構造物掘削 普通部、土砂Bについて、当初計上歩掛りとして、バックホウ掘削・積込・0.6m <sup>3</sup> (一般規模)でお考えでしょうか。 また、発生土の運搬及び処分については、矢口プラント敷地内に仮置きし、原形復旧にて埋戻しする際に使用すると考えてよろしいでしょうか。 ②埋戻し B について、当初計上歩掛りとして、埋戻し・小規模(バックホウ+タンバ)でお考えでしょうか。 ③コンクリート 基礎コンクリートB2-1について、当初計上歩掛りとして、コンクリートポンプ車打設・鉄筋構造物(Ⅲ)・1回当たりの打設量は251m <sup>3</sup> 以上750m <sup>3</sup> 以下でお考えでしょうか。 ④型枠 D について、当初計上歩掛りとして、落下物防止柵基礎相当の型枠でお考えでしょうか。 ⑤鉄筋 A について、異形棒鋼の種別はD13・SD295Aでお考えでしょうか。 ⑥地盤改良 t=20cm、セメント系固化剤 添加量=148kg/m <sup>3</sup> について、当初計上歩掛りとして、自走式土質改良工(砂質土)・セメント系固化剤は一般改良用フレコン(ロックマイティ相当)でお考えでしょうか。	敷地整備工は、金抜設計書「特-(14) 率計上工事に関する事項」となります。 なお、率計上項目については、契約後に協議をする項目であり、参考図書の位置付けのため、内容に関する質問にはお答えできません。
2	設計図 敷地整備工193/197 敷地整備工(2)	設計図 敷地整備工 193/197 敷地整備工(2)において、 ①標準断面図の舗装(幅員6m)の両脇にある、幅500mmの路肩部の詳細(使用材料、工種)をご教示願います。 ②素掘り側溝について、当初計上歩掛りとして、バックホウ掘削・積込・0.2m <sup>3</sup> (小規模)でお考えでしょうか。 また、発生土の運搬及び処分については、矢口プラント敷地内に仮置きし、原形復旧にて埋戻しする際に使用すると考えてよろしいでしょうか。 また、埋戻しは、当初計上歩掛りとして、小規模(ブルドーザ+振動ローラ)でお考えでしょうか。	敷地整備工は、金抜設計書「特-(14) 率計上工事に関する事項」となります。 なお、率計上項目については、契約後に協議をする項目であり、参考図書の位置付けのため、内容に関する質問にはお答えできません。
3	設計図 敷地整備工194/197 敷地整備工(3)	設計図 敷地整備工 194/197 敷地整備工(3)において、 ①土木シート敷設・撤去について、当初計上歩掛りとしては防草シート工(露出)でお考えでしょうか。また、土木シートを固定するためのピン等は計上されていますでしょうか。 また、原形復旧の際の土木シート撤去は、当初計上歩掛りとしては設置と同じでお考えでしょうか。異なる場合ご教示願います。 ②敷砂利 RC-40、t=10cmについて、当初計上歩掛りとしては路盤工でお考えでしょうか。また、原形復旧の際の敷砂利撤去費用は、構造物掘削(一般規模機械施工)でお考えでしょうか。	敷地整備工は、金抜設計書「特-(14) 率計上工事に関する事項」となります。 なお、率計上項目については、契約後に協議をする項目であり、参考図書の位置付けのため、内容に関する質問にはお答えできません。